

# 広報カレンダー

町のホームページアドレス <http://www.town.kuzumaki.iwate.jp>  
役場の各種手続きの方法やサービス、町のイベント情報、広報くずまきなどをインターネットでご覧いただけます。

3月		弥生 March	
日	曜	主な行事	時間 場所
1	金	自殺対策強化月間 春の火災予防運動（～7日） サイレン点検日 卒業式（葛巻高）	正午 町内全域
2	土		
3	日	わくわくママさんレッスン	10:00-12:00 保健センター
4	月		
5	火	配食サービス 子育てサロン	10:00-12:00 保健センター
6	水	やまどり号巡回 幼児歯科健康診査	10:00-14:30 江刈・北部方面 保健センター
7	木	やまどり号巡回 なかよし広場 いきいきスポーツ大学⑬	9:30-11:30 13:30- 五日市・馬淵・江刈川方面 保健センター 社会体育館
8	金	やまどり号巡回 歯っぴー教室②	10:00-12:00 小屋瀬・吉ヶ沢方面 保健センター
9	土	卒園式（江刈保育園、五日市保育園）	
10	日	第34回隣接市町村親善バレーボール大会	9:00- 社会体育館
11	月	やまどり号巡回 心配ごと相談	9:00-12:00 田代～茶屋場方面 保健センター
12	火	子育てサロン 卒業式（江刈中）	10:00-12:00 保健センター
13	水	卒業式（葛巻中、小屋瀬中） 1歳6カ月児健診	10:00-12:00 保健センター
14	木	なかよし広場 いきいきスポーツ大学⑭	9:30-11:30 13:30- 保健センター 社会体育館
15	金	配食サービス こころの健康相談 岩手県司法書士会無料定期相談会	13:30-15:30 16:00-19:00 保健センター 総合センター
16	土	卒業式（小屋瀬小、江刈小、五日市小） おはなし会&映画会⑩	10:00- 総合センター

日	曜	主な行事	時間	場所
17	日			
18	月	乳幼児相談	13:00-	保健センター
19	火	心配ごと相談 子育てサロン 卒業式（葛巻小）	9:00-12:00 10:00-12:00	保健センター 保健センター
20	水	春分の日		
21	木	なかよし広場 いきいきスポーツ大学⑮	9:30-11:30 13:30-	保健センター 社会体育館
22	金	配食サービス 年金相談日	9:00-14:30	総合センター
23	土	卒園式（葛巻保育園、小屋瀬保育園）		
24	日			
25	月			
26	火	子育てサロン	10:00-12:00	保健センター
27	水			
28	木	なかよし広場 いきいきスポーツ大学⑯	9:30-11:30 13:30-	保健センター 社会体育館
29	金	心配ごと相談	9:00-12:00	保健センター
30	土			
31	日			

4月		うづき 卯月 April	
日	曜	主な行事	時間 場所
1	月	サイレン点検日	正午 町内
2	火		
3	水		
4	木		
5	金	入学式（小屋瀬小、五日市小、葛巻中、江刈中）	
6	土	入学式（葛巻高）	
7	日		

## 広告

### ご入学おめでとう

指定店  
葛巻小学校運動着 葛巻中学校学生服 葛巻高校女子制服  
信頼と心のふれあいを大切に、地域社会に奉仕する ファミリー衣料センター



# 中央ストア

贈答品 寝具 ファッション  
新町 ☎66-2450 まごごろ印刷 ☎66-4110

### 卒業おめでとうございます

# まったつ りんてん



∞∞自転車・オートバイは  
安全・安心の専門店から∞∞

でんわ 66-2777

# スマイル smile

vol. 7



小学生に指導する土谷さん⑧

【プロフィール】青森県上北郡東北町出身。旧姓・清水目。高校・大学・社会人とそれぞれのクラスの全国大会で優勝を重ねる。野辺地高～大東文化大学～(株)リクルート。昭和61年、典雄さんと結婚し二男一女。現在土谷商店を営む。



現役国体選手はお母さん！

”スポーツの楽しさ知って欲しい”

土谷 美保子さん (51歳・元木)

2月17日、秋田県鹿角市で開催された第68回国民体育大会冬季大会スキー競技会でクロスカントリ―競技に出場した土谷美保子さん（51歳・元木）。5年ぶりの国体は、距離女子成年B（24歳以上）5キロクラシカルで10位に。「全日本のバリバリの現役選手と一緒のレース。自分がもつと走れたとしても、あまり順位

は変わらないかな」と振り返る土谷さん。クロスカントリ―競技は「クラシカル」まっすぐに板を滑らせるストリートスライディング走法」と「フリー」あらゆる走法が許されるが主にスケーティング走法」の2つの走法があり、クラシカル種目でスケーティングした場合、失格となり、道

具（スキー板、靴など）も走法でそれぞれ異なる。土谷さんは、クラシカルの長距離種目を得意としている。「今回、自分としては50点だけ、関係者から『やっぱりフォームがいいね、無駄がないよ』と声を掛けていただいて・・・」とにっこり。会場には、クロスカントリ―競技のコース整備補助を担当していた秋田駐屯地の自衛隊員で長男の一郎さんもいて、力走する「お母さん」に大きな声援を送った。

1月の予選・県民体育大会から国体までは約1カ月。家業である商店の決算や税の申告の準備、講演の依頼などもあり、なかなか練習時間の確保が大変だったが、店番を交代してもらったり、家族の協力を得ながら一戸町の奥中山高原の専用コースへ通った。「いつも秋にトレーニングを兼ねて山歩きますが、今年はそのことが不作でしたからね。その分、スタミナがちよつと・・・と笑い、「毎日の生活の中で、常に身体の筋肉や重心を意識して、家事のちよつとした合間にもスクワットなどやっていたからね」と競技を続けられる秘訣を話した。

出身は青森県の東北町。競技を始めたきっかけは、小学校6年生の時に赴任したクロスカントリ―スキーを指導する教頭先生との出会い。始

めてわずか数カ月で町の大会で優勝、続く青森県大会でも9位となり本格的に取り組むことに。高校、大学、社会人といずれも全国でチャンピオンになり、結婚、出産後も競技を続け国体の出場回数は17回、そのうち4度優勝している。「一人目の子どもを連れ大会に行き、レース中、義妹に子守りを頼んでに出たこともありましたね」と思い出を語る。

「やりたいという思いがあれば、競技を続けられます。私は運動しないと酸素がカラダに行きわたらないというか、体がしびれる感じがしてイヤなんです」と話し、毎朝4時に起床し、夫の典雄さんと新聞の折り込みや配達をして、犬の散歩でも欠かさず走っている。